安全データシート

BCHPC

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/17
1.2	2025/03/28	600000000023	初回作成日: 2022/01/28

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : BCHPC

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : United Initiators (Shanghai) Co., Ltd

住所 : Room 501, Bldg. 1, No. 1 Shangda Road
Shanghai, China, 200444

電子メールアドレス : cs-initiators.cn@united-in.com

緊急連絡電話番号 : +86 21 61172762

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 重合化開始剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

有機過酸化物 : タイプ C

皮膚感作性 : 区分 1

水生環境有害性 短期（急性） : 区分 3

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H242 熱すると火災のおそれ。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き : **安全対策:**

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P234 他の容器に移し替えないこと。
P235 涼しいところに置くこと。
P240 容器を接地しアースをとること。
P261 粉じんの吸入を避けること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P370 + P378 火災の場合：消火するために水スプレー、耐アルコール性フォーム、粉末消火剤（ドライケミカル)又は炭酸ガスを使用すること。

保管:

P403 換気の良い場所で保管すること。
P410 日光から遮断すること。
P411 ＜ 20 ° C/ ＜ 68 ° F 以下の温度で保管すること。
P420 隔離して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	:	化学物質
化学名又は一般名	:	有機過酸化物 固体
化学名又は一般名	:	ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩
CAS 番号	:	15520-11-3

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩	15520-11-3	<= 100	3-2297

4. 応急措置

一般的アドバイス : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
直ちに医師を呼ぶ。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。
中毒の症状は数時間後に現れる。

吸入した場合 : 呼吸が困難な場合あるいはチアノーゼが認められた場合には、酸素吸入を行う。
吸い込んだ場合、新鮮な空気の場所に移す。
呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 : 症状が持続する場合は、医師に連絡する。
接触した場合、直ちに多量の水で少なくとも 15 分間皮膚を洗い流しながら、汚染した衣服と靴を脱ぐ。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。

眼に入った場合 : 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師を呼ぶ。
水で口をよくすすぐ。
気道を確保する。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
感作性影響

応急措置をする者の保護	:	救急救命士は自己防衛に努め、推奨されている防護服を着用すること
医師に対する特別な注意事項	:	支持療法および対症療法を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	:	ウォータージェットスプレー 耐アルコール泡消火剤 二酸化炭素（CO2） 粉末消火剤
使ってはならない消火剤	:	大型棒状の水
特有の危険有害性	:	密閉して加熱すると爆発のおそれ。 ガス状分解生成物が出る可能性があり、危険な圧力上昇を招くことがある。 閉塞状態を防止する。 不適合性材料との接触や SADT を超過する温度への暴露は自然発火性可燃蒸気を発生する自己加速型分解反応を引き起こすことがある。 製品は激しく燃焼する。 かなりの距離にわたり逆火が考えられる。 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。 蒸気は空気と混合して爆発性になることがある。 この製品は水に浮き、地表水上では再点火される可能性がある。 火災時は水を噴霧して密閉容器を冷却すること。
特有の消火方法	:	現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。 密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。 火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
消火を行う者の保護	:	消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:	安全な取り扱いの助言や、個人保護具の推奨事項に従う。 保護具を使用する。 粉じんの発生を避ける。 粉じんを吸い込まないよう留意。 付近の発火源となるものを取り除く。 回収したものの使用を避けるために、製品の容器に戻してはならない。 回収した物質は、廃棄上の注意 の項目に記載の方法で処理する。
環境に対する注意事項	:	製品を排水施設に流してはならない。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	不適合な物質との接触は、SADT またはそれ以下の温度での分解の原因となりうる。 流出物は直ちに除去する。 ガス／蒸気／ミストを水スプレージェットで抑える（除去する）。 床およびこの物質で汚染された物体の洗浄には大量の水を使用する。 不活性な吸収材で吸収させる。 廃棄物は分離し、再利用しない。 防爆用工具を使用しなければならない。 本物質を放出および廃棄処理する際、および、その浄化に使用した資材や品目を廃棄する際には、地方自治体や国の規則が適用されることがある。どの規則が適用されるかを決定する必要がある。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	:	ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。
火災及び爆発の予防	:	静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。 熱や発火源から遠ざける。 防爆装置でのみ使用する。

炎、熱および発火源から遠ざける。
可燃物から遠ざけること。
粉じんの発生を避ける。
粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

安全取扱注意事項 : 内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。
吸入性粉じんが発生しないように留意する。
コンタミを避ける。
飲み込まない。
蒸気/粉じんを吸い込まない。
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
静電気放電に対して予防処置手段をとること。
あらゆる製品は、元あったコンテナに戻さないでください。
作業室の換気や排気を十分に行う。
閉塞状態を防止する。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
取り扱い後に徹底的に洗う。
個人保護については項目 8 を参照する。
皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。

接触回避 : 促進剤、強酸と強塩基、重金属（塩）、還元剤

衛生対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。
飲食物から遠ざける。
使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 納品時の容器でのみ保管する。
低温で、換気の良い場所で容器の栓をしっかりと閉めておく。
冷所に保管。
換気のよい場所で保管する。
汚染により圧力が上昇し危険な状態となることがあり、密閉容器は破裂することがある。
ラベルの予防措置を遵守する。
各国の規定に従って保管する。
汚染 （例えば錆、埃、灰） を避けること。腐食する危険がある。

電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。

混触禁止物質 : 可燃性物質から遠ざけること。
強酸、塩基、重金属塩、還元剤から遠ざけること

推奨された保管温度 : < 20 - C

保管安定性に関する詳しい情報 : 推奨保管条件下では安定。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : 作業場における曝露濃度を最低限に抑えること。

保護具

呼吸用保護具 : 粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

フィルタータイプ : フィルタータイプP

手の保護具

材質 : ブチルゴム
破過時間 : <= 480 min
手袋の厚さ : 0.47 mm

材質 : ニトリルゴム
破過時間 : <= 480 min
手袋の厚さ : 0.40 mm

備考 : 素材の破過時間／強さに関するデータは規格値なので、実際の破過時間／強さは、防護手袋の製造者から入手しなければならない。 危険物質の濃度や量により、作業場に合った化学物質防護手袋を選ぶこと。 特殊作業に使用する上記の手袋の耐化学物質性を手袋の製造元に問い合わせることを推奨する。 休憩前や終業時には手を洗う。

眼の保護具 : 作業場所の近辺に洗眼びんおよび安全シャワーを設けること。
特定の職場で保護措置を選定する際全ての適用される国内/

地方自治体の要件に従ってください。
製品と眼が不慮に接触する可能性を払拭できない状況では常時ゴーグルを着用してください。
密着性の高い安全ゴーグル
適切なゴーグル、飛び散る危険がある場合は顔面保護具も付けること

皮膚及び身体の保護具 : 化学的耐性データおよび局所における曝露可能性の評価に基づいて適切な保護衣を選択すること。
肌表面が露出しないように、実施されるタスクに基づき、体を覆うガーメントを追加して使用しましょう（例、スリーブレッツ、エプロン、長手袋、使い捨てスーツなど）。
必要に応じて着用：
難燃静電気保護服。

保護対策 : 特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 粉末

色 : 白色

臭い : 特異臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点／凝固点 : 82 －C
分解: 融点未満の温度で分解する。
方法: OECD 試験ガイドライン 102

沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 非該当

可燃性（固体、気体） : 有機過酸化物

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限値 : 爆発範囲の上限
データなし

爆発範囲の下限 / 可燃下限値 : 爆発範囲の下限
データなし

引火点	:	非該当
自己発火性	:	この物質または混合物は自然発火性としては分類されない。
pH	:	物質/混合物は（水に対して）不溶性です
蒸発速度	:	非該当
かさ密度	:	約 500 kg/m3 (20 －C)
自然発火温度	:	不定
自己促進分解温度(SADT)	:	45 －C 方法: UN テスト H.4 SADT-Self Accelerating Decomposition Temperature. Lowest temperature at which the tested package size will undergo a self-accelerating decomposition reaction.
粘度		
粘度(粘性率)	:	非該当
動粘度（動粘性率）	:	非該当
溶解度		
水溶性	:	0.6 μg/l 不溶 (20 －C)
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	:	log Pow: 8.34 値は算出されます。
蒸気圧	:	0.01 Pa (20 －C)
密度及び／又は相対密度		
比重	:	1,103 (20 －C)
密度	:	不定
相対ガス密度	:	非該当
爆発特性	:	爆発性なし 粉じんの発生を避ける。
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。 有機過酸化物
自己発熱性化学品	:	この物質または混合物は自己発熱性としては分類されない。
分子量		398.5 g/mol

粒子特性

粒子サイズ	:	不定
粒度分布	:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	:	推奨保管条件下では安定。 熱すると火災又は爆発のおそれ。
化学的安定性	:	推奨保管条件下では安定。 通常の保存状態では分解しない。
危険有害反応可能性	:	粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。
避けるべき条件	:	コンタミを避ける。 不適合な物質との接触は、SADT またはそれ以下の温度での分解の原因となりうる。 熱、炎、火花。 閉塞状態を防止する。
混触危険物質	:	促進剤、強酸と強塩基、重金属（塩）、還元剤
危険有害な分解生成物	:	火災や分解で刺激性、腐食性、引火性の健康を害する / 毒性のガスや蒸気が発生することがあります。

11. 有害性情報

急性毒性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

急性毒性（経口）	:	LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 401 アセスメント: 成分/混合物の単回経口摂取後毒性は低い。
急性毒性（吸入）	:	備考: データなし
急性毒性（経皮）	:	備考: データなし

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

急性毒性（経口）	:	LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 401
アセスメント: 成分/混合物の単回経口摂取後毒性は低い。

急性毒性（吸入） : 備考: データなし

急性毒性（経皮） : 備考: データなし

皮膚腐食性／刺激性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

製品:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

備考 : 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

備考 : 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

製品:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

備考 : 製品の粉じんは、眼、皮膚、呼吸器官に刺激がある。

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

備考 : 製品の粉じんは、眼、皮膚、呼吸器官に刺激がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

種	:	マウス
方法	:	OECD 試験ガイドライン 429
結果	:	皮膚に触れると感作を起すことがある。
備考	:	感作を起こす。

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

種	:	マウス
方法	:	OECD 試験ガイドライン 429
結果	:	皮膚に触れると感作を起すことがある。
備考	:	感作を起こす。

生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

in vitro での遺伝毒性	:	方法: OECD 試験ガイドライン 471 結果: 陰性 方法: OECD 試験ガイドライン 476 結果: 陰性 方法: OECD 試験ガイドライン 487 結果: 陰性
in vivo での遺伝毒性	:	備考: データなし

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

in vitro での遺伝毒性	:	方法: OECD 試験ガイドライン 471 結果: 陰性 方法: OECD 試験ガイドライン 476 結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 487
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 備考: データなし

発がん性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

備考 : この情報は利用できません。

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

備考 : この情報は利用できません。

生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

妊娠に対する影響 : 備考: この情報は利用できません。

胎児の発育への影響 : 備考: この情報は利用できません。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データが不足しているので分類されていない。

製品:

備考 : データなし

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

備考 : データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データが不足しているので分類されていない。

反復投与毒性

製品:

種 : ラット
NOAEL : 500 mg/kg

LOAEL	:	1,000 mg/kg
投与経路	:	経口
曝露時間	:	28 d
方法	:	OECD 試験ガイドライン 407

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

種	:	ラット
NOAEL	:	500 mg/kg
LOAEL	:	1,000 mg/kg
投与経路	:	経口
曝露時間	:	28 d
方法	:	OECD 試験ガイドライン 407

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

データなし

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

データなし

詳細情報

製品:

備考	:	データなし

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

備考	:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性	:	LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 704 mg/l 曝露時間: 96 h 方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:	EC50 (Daphnia magna（オオミジンコ)): 42 mg/l 曝露時間: 48 h 方法: OECD 試験ガイドライン 202
藻類／水生生物に対する毒性	:	EC50 (Desmodesmus subspicatus（緑藻)): 39 mg/l 曝露時間: 72 h 方法: OECD 試験ガイドライン 201

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性）	:	水生生物に有害。
水生環境有害性 長期（慢性）	:	長期継続的影響によって水生生物に有害。

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

魚毒性	:	LC50 (Oncorhynchus mykiss（ニジマス)): 704 mg/l 曝露時間: 96 h 方法: OECD 試験ガイドライン 203
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:	EC50 (Daphnia magna（オオミジンコ)): 42 mg/l 曝露時間: 48 h 方法: OECD 試験ガイドライン 202
藻類／水生生物に対する毒性	:	EC50 (Desmodesmus subspicatus（緑藻)): 39 mg/l 曝露時間: 72 h 方法: OECD 試験ガイドライン 201

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性）	:	水生生物に有害。
水生環境有害性 長期（慢性）	:	長期継続的影響によって水生生物に有害。

残留性・分解性

製品:

生分解性	:	結果: 易分解性ではない。 方法: OECD 試験ガイドライン 301B

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
方法: OECD 試験ガイドライン 301B

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子（BCF）: 2,926

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子（BCF）: 2,926

n-オクタノール／水分配係数（log 値） : log Pow: 8.34
備考: 計算

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
長期継続的影響によって水生生物に有害。

成分:

ジ(4-ターシャリブチルシクロヘキシル)過酸化炭酸塩:

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
長期継続的影響によって水生生物に有害。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。

汚染容器及び包装	:	地方自治体の規制に従い処分する。 水で容器を洗浄する。 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。 残りの容器を空にする 製品入り容器と同様に処分する。 空の容器を再使用しない。 空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号 (UN number)	:	UN 3114
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	ORGANIC PEROXIDE TYPE C, SOLID, TEMPERATURE CONTROLLED (DI-(4-tert-BUTYLCYCLOHEXYL) PEROXYDICARBONATE)
国連分類 (Class)	:	5.2
容器等級 (Packing group)	:	規制による割り当て無し
ラベル (Labels)	:	5.2
環境有害性	:	非該当

航空輸送(IATA-DGR)

輸送は許可されていない

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	:	UN 3114
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	ORGANIC PEROXIDE TYPE C, SOLID, TEMPERATURE CONTROLLED (DI-(4-tert-BUTYLCYCLOHEXYL)PEROXYDICARBONATE)
国連分類 (Class)	:	5.2
容器等級 (Packing group)	:	規制による割り当て無し
ラベル (Labels)	:	5.2
EmS コード (EmS Code)	:	F-F, S-R
海洋汚染物質(該当・非該当) (Marine pollutant)	:	非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのためで、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

追加のアドバイス

Temperature controlled transport.:
温度管理 : 30 - C
非常時温度 : 35 - C

緊急時応急措置指針番号 : 148

15. 適用法令

関連法規

消防法

第五類, 有機過酸化物, 第二種自己反応性物質, (100 キログラム), 危険等級 II

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

皮膚等障害化学物質 不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則第 594 条の２）

非該当

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の２）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

爆発性の物

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1: 酸化性物質類

航空法

積載禁止

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送	:	有害液体物質には該当しない
個品輸送	:	海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

国際規制

Gefahrgruppe nach TRGS 741: Ia (German regulatory requirements)

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：

TCSI (TW)	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
TSCA (US)	:	全ての成分が TSCA インベントリーに記載されている
AIIC (AU)	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
DSL (CA)	:	本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに収載されている。
ENCS (JP)	:	インベントリーに収載されている、または準拠している

ISHL (JP)	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
KECI (KR)	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
PICCS (PH)	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
IECSC (CN)	:	インベントリーに収載されている、または準拠している

16. その他の情報

詳細情報

その他の情報	:	この安全データシートには、安全性に関する情報のみが掲載されているので、商品情報や商品仕様に代わるものではない。 これらの安全に関する指示は、製品が残留している可能性のある空容器にも適用される。 表に記載の危険有害性は容器の残留物にも適用される。
引用文献	:	内部技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、 OECD eChem ポータルおよび欧州化学物質局 http://echa.europa.eu/の検索結果
日付フォーマット	:	年/月/日

その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト（カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法（日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量（半数致死量）; MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n.o.s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性性・生体蓄積性・有毒性(物質）; PICCS - フ

ィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - （定量的）構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認 可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のﾃﾞｰﾀはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA